



# 美しい 県土づくりNEWS

2021年  
2月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第199号  
令和3年2月26日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 災害公営住宅南青山アパートの完成式を開催！
- 4 一般国道284号石法華工区が開通しました！
- 6 閉伊川水門現場見学会を開催しました！
- 8 流域治水協議会を開催しています！
- 9 いわてポートフォーラム2021  
～企業ネットワークいわて～を開催しました！
- 10 高等学校との協働による橋梁点検の報告会を開催!!  
～道路インフラメンテナンスの理解向上と土木業界の担  
い手の確保・育成を推進～
- 12 『東日本大震災における復興記録展』を開催しています！
- 13 『北上・西和賀の除雪記録展』を開催します！

# 三陸復興

## 災害公営住宅南青山アパート 完成式を開催！

県が整備を進めてきた災害公営住宅県営南青山アパート（盛岡市）について、昨年12月に工事が完了したことから、令和3年2月11日（木・祝）に完成式を開催しました。これにより、県と市町村において、被災者の暮らしの再建として整備を進めてきた災害公営住宅5,833戸が全て完成しました。



▲鍵渡しの様子（左：入居者代表、中央：知事、右：都市再生機構（事業受託者））

【災害公営住宅】

# 県営南青山アパートの完成式を開催！

建築住宅課

本県における災害公営住宅最後の整備となる県営南青山アパート（盛岡市）について、昨年12月に工事が完了し、令和3年2月11日（木・祝）に入居者へ鍵の引き渡しを行いました。

当日は10時から近隣の盛岡市西部公民館で完成式を行い、達増知事、関根県議会議員、谷藤盛岡市長、県議会議員、盛岡市議会議員、南青山町内会会長、入居者など約30名が出席し、達増知事は『心のケアやコミュニティ形成支援など、切れ目のない復興を続けていく』と挨拶し、入居者の代表にレプリカの特大キーを渡しました。

これにより、東日本大震災津波災害により住まいを失った方の暮らしの再建のため県及び市町村が一体となって進めてきた、災害公営住宅の整備が全て完了しました。



挨拶 達増知事



祝辞 関根県議会議員



祝辞 谷藤盛岡市長



知事から入居者への鍵渡し

県営南青山アパート内には、見守りなどを行う支援者が常駐するためのスペースを確保しており、当該スペースに盛岡市が常駐型支援拠点として開設した『もりおか復興支援センター 南青山拠点 青山コミュニティ番屋』のお披露目会が完成式同日の11時からアパート集会所前にて開催され、中平県土整備部長が出席しました。

お披露目会では、『宮古・山口太鼓の会』による祝賀演奏、餅まきなどが行われ、入居者と地域住民との交流を深めました。



お披露目会 中平県土整備部長と集会所

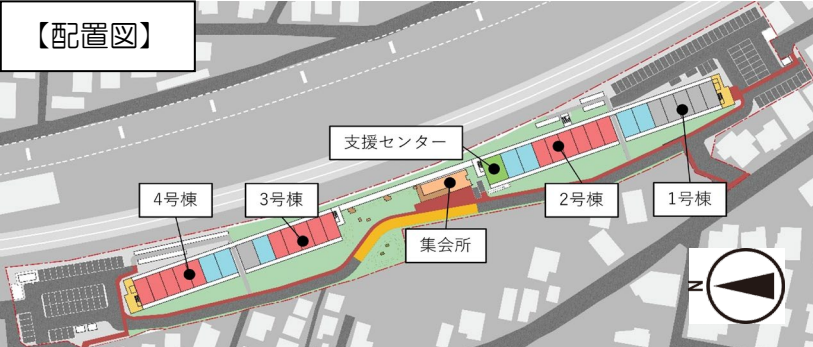


祝賀演奏「宮古・山口太鼓の会」と南青山アパート2号棟

# 県営南青山アパート 事業概要

アクセス		敷地面積	12,197 m <sup>2</sup>
		建築面積	7,790 m <sup>2</sup>
		構造形式	鉄筋コンクリート造
		階数	1・2号棟：地上4階建 3・4号棟：地上3階建
		住戸タイプ	2DK (56 m <sup>2</sup> ) 69戸 3DK (67 m <sup>2</sup> ) 27戸 計99戸 4DK (81 m <sup>2</sup> ) 3戸
		付属施設	集会所、支援センター、駐車場99台 駐輪場99台、トランクルーム99台 受水槽、ゴミ置場、共同花壇
	備考	3・4号棟はペット共生住棟 エレベーターは1・2号棟、3・4号棟に各1台	

IGR「青山駅」から徒歩7分

 <p>【配置図】</p>	【事業経緯】	
	H29.9	都市再生機構へ建設要請
	H31.3	売買契約締結
	R元.9	基盤整備工事着手
	R2.1	建設工事着手
	R2.12	建設工事完成
	R3.2	完成式・入居開始

【外観・内観】



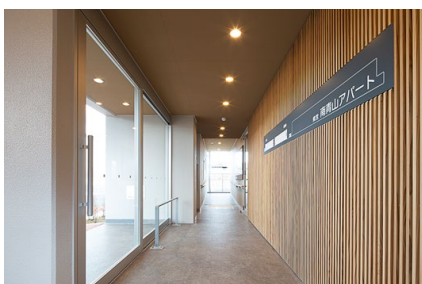
外観 (3号棟)



室内 (食事室・和室)



室内 (台所)



エントランス (県産木材ルーバー)



集会所 (集会スペース)



集会所 (畳スペース)

【復興支援道路】

一般国道284号石法華工区いしほっけが開通しました！

～年末からの大雪を考慮し 約1か月前倒しでバイパス供用～

県南広域振興局土木部一関土木センター

一般国道284号は、岩手県陸前高田市を起点とし、宮城県気仙沼市を經由して、一関市に至る、沿岸と内陸を結ぶ主要幹線道路です。

本路線は、緊急輸送道路にも指定されており、平成23年の東日本大震災津波の際も、被災者の救出・救援物資の輸送等に大きな役割を果たしました。

しかし、一関市滝沢字石法華から弥栄字岩崎間は、道幅が狭く、急カーブ急勾配が連続し、歩道が未設置の区間もあることから、地元から道路整備に対する強い要望がありました。県では、本路線を復興支援道路に位置付け、隘路の解消による安全な通行確保のため、平成25年度に延長約1.3キロメートルの石法華工区の整備に着手し、約8年の歳月を経て、令和3年1月24日（日）に供用開始しました。

今回の供用は、概ねのバイパス整備が図られ、年末からの大雪に見舞われた状況を受けて、早期に隘路の解消と安全な通行確保を図るため、予定より約1か月前倒しでバイパス区間の供用を行ったものです。引き続き、一部通行規制を行いながら、旧道との取付交差点等の施工等を進め、早期の事業完了を目指していきます。

開通式典の様子



▲テープカットの様子



▲供用開始のパレード



▲式辞 佐々木 県南広域振興局長



▲祝辞 勝部 一関市長

石法華工区のルート



整備前・整備後の比較



▲整備前：幅員が狭く歩道がない



▲整備後：幅員を確保し歩道を整備

【整備効果】

石法華工区の整備により、約300mの距離短縮、約1分の時間短縮となり、安全・安心な通行の確保とともに、物流機能の向上による産業振興や観光地へのアクセス向上、岩手・宮城両県のより一層の交流拡大が期待されます。

【事業概要】

- (1) 計画延長：約 1.3km
- (2) 計画幅員：全体 12.0m(うち車道部 6.5m)
- (3) 主要構造物：補強土壁工 307.5m
- (4) 全体事業費：約 16 億円

# 【二級河川閉伊川筋藤原地区災害復旧事業】 閉伊川水門の現場見学会を開催しました！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

令和3年2月7日、宮古市閉伊川河口部で工事が進む閉伊川水門において、**地元の皆様を対象とした現場見学会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。**

見学会では、事業の概要、これまでの工事の様子、工場で製作した水門ゲートの浜出しの様子、現場の状況や今後の予定などを紹介しました。参加された皆様からは、苦労した点や停電時の仕組みなどについて質問があり、地元の皆様の水門に対する関心の高さが感じられる見学会となりました。

県では、今後も工事進捗状況の発信に努めるとともに、**早期完成へ向けて全力で取り組んでいきます。**



▲現場の大型モニターで工事の状況などを説明しました



▲水門ゲート据付を直前に控えた水門の状況を間近で見学いただきました

## 工事の進捗状況

閉伊川水門では、令和2年7月に左岸側（1期）工事の仮締切内での作業が完了し、現在、仮締切の一部撤去と右岸側（2期）工事の準備を開始しています。

また、並行して、起重機船や台船を利用し、水上で水門ゲートや開閉装置を据え付ける作業を進めています。大阪堺の工場で作成した、高さ約8m、幅約35m、厚さ約5m、重量約450tの巨大なゲート2門を船で宮古港へ運搬し、令和3年2月13日には**航路部に下段ゲートが吊り上げられました。**



▲大阪堺の工場から閉伊川水門のゲートを輸送用の台船に積み込む様子



▲宮古に到着した水門ゲートの吊り上げ作業の様子

ゲート塗装色の選定

水門ゲートの塗装色は、宮古市の将来を担う小中学校、高等学校の皆さんをはじめとした**市民の皆様**の投票で決定（青色）しました。自らが塗装色の選定に携わった水門ゲートが実際に設置されたことで、より水門を身近に感じていただくとともに、津波防災意識の醸成に繋がることを期待しています。



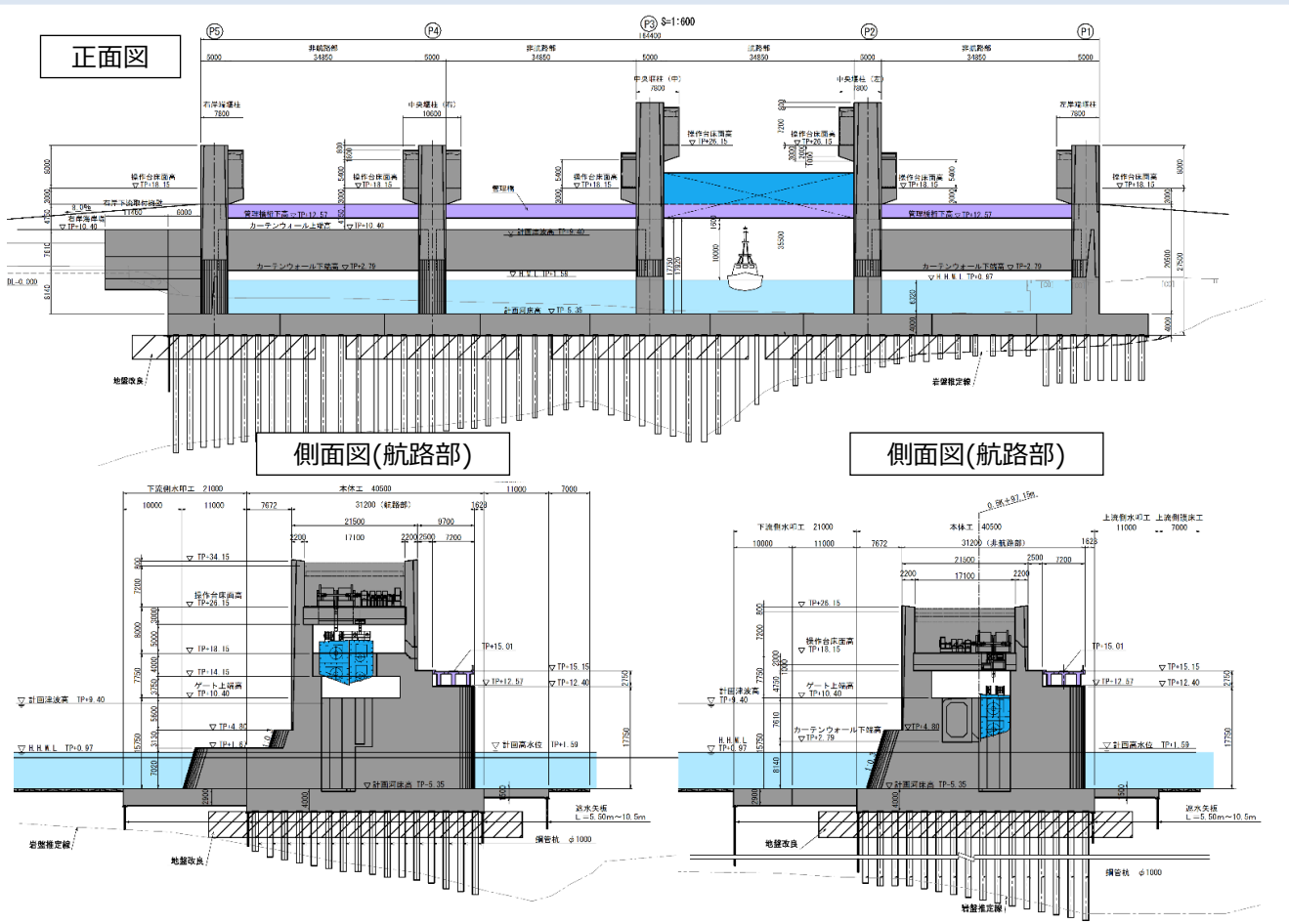
▲総投票数は 5,202 票でした

事業概要

閉伊川水門は、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮古市において、市街地を津波の被害から守るため、令和8年度の完成を目指し二級河川閉伊川河口部に建設中の水門です。

閉伊川河口部は航路としても利用されているため、水門4径間のうち1径間は2段ゲートを採用し、**船舶の航行が可能**となるようにします。

堰柱高さ約 40m（航路部）、純径間約 35m、水門ゲート重量約 500 t（非航路部）と、完成すると**国内最大級の水門**となります。



# 流域治水協議会を開催しています！

河川課

本誌8月号でも御紹介しました「流域治水」について、現在、**一級水系**及び**二級水系**におきまして、「流域治水協議会」を開催して取組を進めています。

流域治水協議会は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による今後の水害の激甚化・頻発化に備え、水系毎にあらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うものです。

## 北上川水系（北上川上流）流域治水協議会 【事務局】国土交通省岩手河川国道事務所、 岩手県

R2.9.16 第1回開催

協議会設立、北上川水系流域治水プロジェクト  
（中間とりまとめ案）

R3.2.10 第2回開催

北上川水系流域治水プロジェクト（案）・  
北上川水系（北上川上流）流域治水宣言（案）



## 馬淵川水系流域治水協議会 【事務局】国土交通省青森河川国道事務所、 青森県、岩手県

R2.9.18 第1回開催

協議会設立、馬淵川水系流域治水プロジェクト  
（中間とりまとめ案）

R3.2.18 第2回開催

馬淵川水系流域治水プロジェクト（案）

※ 岩手県及び岩手県内の市町村・関係機関は  
第2回から参加。



## 小本川水系流域治水協議会 【事務局】岩手県岩泉土木センター、岩泉町

R3.2.5 第1回開催

協議会設立、小本川水系流域治水プロジェクト（案）

※ 県内の二級水系で初めての開催。

岩手県では、来年度は4つの二級水系（久慈川、閉伊川、甲子川、気仙川）において流域治水協議会を  
設立する予定。



※ 詳細は下記の県のホームページから確認できますので是非御覧ください！

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kasen/bousai/1036867.html>



# 「いわてポートフォーラム 2021 ～企業ネットワークいわて～」を開催！

港湾課

令和3年2月12日（金）、花巻市において「いわてポートフォーラム 2021～企業ネットワークいわて～」を開催しました。

本フォーラムは、**本県の港湾利用の拡大に向けた相互交流を目的**に、例年東京都内で開催しているものですが、本年度は、参加対象を東北地区の荷主事業者・物流事業者に限定し、余裕をもった定員設定やリモート講演の導入などの感染症対策を講じた上で、初めて**県内で開催**しました。

また、今回は、**岩手県企業誘致推進委員会・いわて自動車関連産業集積促進協議会・いわて半導体関連産業集積促進協議会**の3団体から共催していただきました。

冒頭、**達増知事**から「港湾が支えるいわての産業」と題し、復興道路等の順次開通に伴う港湾へのアクセス性の向上、世界とつながるコンテナ航路など、**本県の港湾の機能、利用メリット**や**県内産業にもたらす効果**を紹介しました。また、**遠藤久慈市長、山本宮古市長、野田釜石市長、戸田大船渡市長**が、**各市所在港湾の概要やセールスポイント**などをPRしました。

続いて、製品輸出を県外の港から釜石港に切り替えた**大野ゴム工業(株)**の**伊藤常務取締役**から、「**遠野と共に！そして未来へ！**」と題してリモートによる講演をいただきました。

当日は106名が参加し、知事や**各市市長のプレゼンテーション**や、大野ゴム工業(株)伊藤常務取締役の講演を熱心に聴いていただきました。

その後、**参加企業と港湾所在市との名刺交換会**が行われ、本県の港湾における一層の利用拡大に向けたフォーラムとなりました。



▲達増知事プレゼンテーション



▲大野ゴム工業(株)伊藤常務取締役によるリモート講演



▲会場における感染症対策の様子（受付）



▲参加企業と港湾所在市との名刺交換会

## 令和2年度 高校生との協働による橋梁点検

### 報告会を開催しました!!

～ 道路インフラメンテナンスの理解向上と土木業界の担い手の確保・育成を推進～

道路環境課

県が管理する道路橋（約 2,800 橋）は、建設後 50 年以上経過する橋梁の割合が現在の約 3 割から 20 年後には約 7 割と大幅に上昇する見込みであり、**老朽化対策**が大きな課題となっています。

県では、老朽化した橋梁のメンテナンスを適切に行うため、道路法施行規則に基づき、5年に1回の頻度で**橋梁点検（近接目視点検）**を行っています。

令和元年度からは、道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解向上と、自ら実施した点検が県民の安全な暮らしを支えることとなる土木の魅力を感じてもらうことにより、土木業界の**担い手の確保・育成を推進**するため、**県内工業高校との協働による橋梁点検**に取り組んでいます。

今年度は、**県立久慈工業高等学校**（建設環境科2年生・環境土木コース8人）、**県立盛岡工業高等学校**（土木科3年生・橋梁調査班7人）の2校との協働による橋梁点検を行い、その結果等について、それぞれ**報告会**を行いました。

令和3年2月10日（水）に実施した**盛岡工業高校の報告会**では、**生徒から中平県土整備部長に点検調書を手交**し、県に対して林平橋ほか4橋の点検結果や健全性診断結果等の報告が行われました。

また、令和3年2月19日（金）に実施した**久慈工業高校の報告会**では、**生徒から県北広域振興局土木部佐野部長に点検調書を手交**し、県に対して蒲野橋ほか3橋の点検結果や健全性診断結果等の報告が行われました。

#### 【県立盛岡工業高等学校との協働による橋梁点検の報告会】

- 日 時:令和3年2月10日(水) 13時30分～14時10分
- 場 所:盛岡地区合同庁舎 講堂 A
- 報告者:岩手県立盛岡工業高等学校生徒(土木科3年生・橋梁調査班7人)
- 県出席者:中平県土整備部長、照井道路環境課総括課長、盛岡広域振興局土木部 高瀬道路河川室長

#### 【県立久慈工業高等学校との協働による橋梁点検の報告会】

- 日 時:令和3年2月19日(金) 13時00分～13時40分
- 場 所:久慈地区合同庁舎 5階 第2会議室
- 報告者:岩手県立久慈工業高等学校生徒(建設環境科2年生・環境土木コース8人)
- 県出席者:県北広域振興局土木部 佐野部長、古舘道路整備課長

盛岡工業高校生徒から中平県土整備部長への  
点検調書手交



久慈工業高校生徒から佐野部長への  
点検調書手交





# 『東日本大震災における復興記録展』 を開催しています！

東日本大震災津波から節目の10年を迎えるにあたり、災害の記憶や経験を後世に伝承するため、発災からこれまで沿岸に勤務し、初期の災害対応や復旧復興事業を経験した北上土木センターの職員の記憶や復興のあゆみを紹介するパネル展を開催しています。

**日時** 令和3年2月19日(金)  
～3月19日(金)  
※土日祝祭日もあります

**時間** 午前9時～16時

**場所** 北上地区合同庁舎1階  
県民ホール

**主な展示内容**

- 北上土木センター職員の証言  
～発災当時からこれまでの記憶(記録)～
- 「県土づくりNEWS」(県土整備部毎月発行)からみる復興の  
あゆみ(10年間の記録)
- 復興事業の紹介(沿岸の土木部、土木センターからの提供)  
2/19～28は久慈、岩泉、宮古管内、3/1～19釜石、大船渡管内
- DVDによる動画上映(復興道路の紹介、津波防災講座、水門陸  
開自動閉鎖システムの紹介など)



## ● 来場される皆様へ

- ・展示内容を詳しく知りたい場合は、北上土木センターの職員が御説明しますので、会場に掲示された連絡先にお問合せください。※ただし土日祝日を除く。
- ・会場には、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として消毒液等を設置しています。
- ・土日祝祭日は、会場以外の部屋には立ち入ることができませんのでご容赦願います。

～問い合わせ～

県南広域振興局土木部北上土木センター Te10197-65-2738

# 『北上・西和賀の除雪記録展』を開催します！

県南広域振興局土木部北上土木センター

今シーズンは、**累加降雪量が5ヵ年平均値を上回る**中で、道路利用者の安全安心を確保するため、日常の除雪業務に加え、一般国道107号でのスタック車輛の影響や雪崩による**3度の全面通行止め**など、記録的な大雪に悩まされた**道路管理者**や**除雪オペレーター**の業務を紹介するため**パネル展**を開催します

## 北上・西和賀の除雪記録展

今年の冬はとても雪が多かったですね！  
そこで、皆さんにあまり知られていない、これまでの積雪や除雪のことについて展示します。  
是非、ご覧ください。



### 主な展示内容

- 除雪ってどんなこと？  
(除雪のはなし)
- これまでの北上・西和賀地区の積雪の記録と被害
- 除雪オペレーターのしごと  
など

[北上会場] ※入場無料

〇日時

令和3年3月23日(火)  
～4月16日(金)  
午前9時～午後4時  
※土日も開催

〇場所

北上地区合同庁舎 1階県民ホール

[西和賀会場] ※入場無料

〇日時

令和3年3月23日(火)  
～4月16日(金)  
※開庁時のみ(月～金)

〇場所

西和賀町役場湯田庁舎 1階町民ホール  
※会場都合により規模を縮小し展示

### ●来場される皆様へ[北上会場のみ]

- ・ 展示内容を詳しく知りたい場合は、北上土木センターの職員が御説明しますので、場に掲示された連絡先にお問合せください。※ただし土日祝日を除く。
- ・ 会場には、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として消毒液等を設置しています。
- ・ 土日祝祭日は、会場以外の部屋には立ち入ることができませんのでご容赦願います。

～問い合わせ～

県南広域振興局土木部北上土木センター Tel 0197-65-2738